

私たちは、地域住民の心と身体の健康をささえる病院として
「こころのふれあい」を大切に、安心と満足、信頼を得られる医療・保健・福祉を推進します。

八幡青樹会病院 季刊広報紙

平成18年10月1日 発行
発行責任者 広報委員会
地域連携室

青葉の風

第10号

連絡先 医療社会事業課 0748-33-7104

朝夕の虫の音が、秋が深まってきたことを感じさせてくれています。お店に並ぶ秋刀魚や秋の果物の彩りに思わず食欲をそそられてしまいます。あちこちで運動会の歓声も聞こえています。八幡青樹会病院の季刊広報誌「青葉の風」第10号をお届けいたします。

～ 八幡青樹会病院ニュース ～



第18回研究発表会を開催しました。 教育委員会 三好 喜美子

毎年恒例の研究発表会を7月9日(日)に近江八幡勤労福祉会館で開きました。八幡、長浜両青樹会病院から合計12題の研究発表が発表され、会場は熱心な質疑応答が飛び交いました。また、恒例の文化講演会には京都市在住の絵本作家、永田萌先生をお招きし、「夢みるころ、いつまでも」と題し、先生の作品をスライドでご紹介していただきながら、心豊かなメルヘンの世界へと誘われました。



てんびんまつりでバザー出展しました。 6病棟 松山

8月6日(日)に行われた近江八幡市のてんびんまつりに、恒例のバザー出展を行いました。職員から寄贈していただいた日用品や、様々な生活用品を販売しました。バザーとあわせて、血圧測定コーナーやストレス・テストなど健康相談コーナーを設け多くの市民の皆様喜んでいただけたと思います。売上金¥20,407は地元の作業所に寄付させていただきました。



今年も踊りました！ 盆踊り！ 生活指導員 西江 志織



今年も盆踊りが8月9日に行われました。夏真っ盛りの中、前日から準備を始め、当日の夜は患者様や職員はじめ、地域の皆様もお集まりいただき、やぐらのまわりを輪になって江州音頭を踊り続けました。今年もカフェド・歩° 歩° が、カキ氷やジュースを販売し、夜店さながらの雰囲気が大人気でした。来年は江州音頭ニューバージョンの練習もやろうと、今から来年の盆踊りに向けて盛り上がっています。



天皇賜杯第61回全日本軟式野球大会出場 野球部監督 二国 和良



今年天皇賜杯第61回全日本軟式野球大会が滋賀県で開催され、県下8会場で熱い戦いが繰り広げられました。我が野球部にとっても記念すべき年で、本大会出場権の獲得に年初から練習に励んで来ました。9月15日に大津市の皇子山野球場で開会式が行われ、我が野球部は、翌16日に近江八幡市立運動公園野球場で埼玉県代表の旭製作所と初戦、1対0で勝利しました。2回戦は

台風の接近で天候が心配される中、早朝7時30分から兵庫県代表のグローリー工業と対戦、1回裏に主将泉の3ランホームランで3点を先制、その後7回までに同点に追いつかれ、試合は延長戦に持ち込まれました。堅い守りと攻撃に徹するも、11回に相手に2点を奪われ結果は3対5で2回戦敗退となりました。惜しくも敗退となりましたが、開催県の誇りと病院野球部としてのチームワークを見ていただく絶好の機会となりました。地域関係者の皆様、近隣の皆様、八幡中学野球部の生徒さんをはじめ、応援いただきました皆様に心から感謝いたします。

Q：高額療養費制度はどういった時に受けられるのですか。手続きはどのようにするのですか。



この制度は、病院の会計窓口で、自己負担金を1ヵ月に自己負担限度額以上支払った人が対象になります。自己負担限度額とは、その方の所得で決まり、70歳未満の場合、年収が多い人(上位所得世帯)で150,000円、年収が少ない人(非課税世帯)は35,400円、それ以外の人(一般所得世帯)が80,100円となります。(注：平成18年10月以降)

申請することにより、この自己負担限度額を超えた金額分が超過分として払戻されることとなりますが、入院時の部屋代、食事代はこのなかには含まれません。(薬代は含まれます。)また、ここでいう1ヶ月は、その月の1日～月末までであり、月をまたいでの1ヶ月間ということではないので注意してください。入院でも外来でも大丈夫ですが、申請の窓口は各保険によって違います。政府管掌健康保険は、社会保険事務所、組合管掌保険は所属されている保険組合、共済組合は所属されている共済組合となります。また、国民健康保険は市区町村の役所、船舶保険については船舶所有者住所地の都道府県、または社会保険事務所になります。詳しくはお住まいの市町村や社会保険事務所、当院のソーシャルワーカーにお問い合わせください。

ブドウ狩りに行ってきました グループホーム青葉の里3号館一同/世話人 久郷美津子

9月2日の早朝、待ちに待ったブドウ狩りの日です。準備万端整えて9時には竜王に向けて出発。「ちょっと早すぎるかなー」と、一番乗りでブドウ園に入りました。さっそく、お店の人の案内で一人づつ籠とはさみをもってブドウ畑に入りました。ブドウ畑に入るやいなや、皆な童心にかえり美味しそうなブドウを探しひと房、大きな粒のブドウをひと房、色つやのいいブドウをひと房と摘んでいきました。



摘んだブドウは水洗いし、テーブルについて食べました。「あなたのブドウのほうが美味しそうやで・・・。」「いや、こっちのほうが・・・。」とおしゃべりしながら食い気1本、ひと房目はあっという間に無くなりました。ふたつ目の房は、ゆっくりと大きさや色合いを楽しみながら食べました。お互いのブドウを食べあって、おなかがいっぱいになったところで、お土産のブドウも買って、楽しくあっという間のブドウ狩りでした。帰ってきて、少し遅めの昼食になりましたが、素麺を食べながら感想を話し合いました。入居者のKさんは「久しぶりでもっと長くいたかった。」、Tさんは「ブドウが美味しかった。」、Nさん、Iさんは「もっと長くいたかったし、また是非来たい。」と皆さん、秋の味覚とブドウ狩りをこころから楽しんでいただけたようです。

あとがき



当院には「グリーン・アンド・クリーン・デイ」という月間行事があります。これは、日々の清掃以外に毎月9日、職員全員が少し早く出勤し、病院や周辺の道路の草刈やゴミ拾い、など清掃活動を行うものです。心理学で「割れ窓理論」という理論があります。建物やビルの窓ガラスが割られたまま放置しておく、その建物は管理されていないと見られ、さらに割られる窓ガラスが増え、建物やビル全体が荒れ、地域全体に波及していくというものです。これによると、病院や病院の周囲を美しくしておくことは、そのまま地域美化への貢献になるということでしょうか。毎月1回、ささやかなことですが、きれいな町の維持に細く長く続けていきたいと思っております。

皆さまからのご意見、投稿など募集しております。詳しくは広報委員会までお尋ねください。

八幡青樹会病院 広報委員会(地域連携室内) 電話 0748-33-7104 FAX 0748-32-7725